

疫学研究の実施についてのお知らせ

京都大学医学部附属病院 腫瘍内科では病気の診断や治療の向上を目指して、実際に治療を受けられた方の臨床情報を元に種々の研究を行っています。以下にその概要を記しますのでご理解の程お願いいたします。

2020年5月18日

1. 研究計画名

本邦におけるがん患者の治療実態調査に関する研究

2. 研究の意義・目的

がんの治療実態について厚生労働省レセプトデータを用いて調査し、今後のがん診療の参考資料とします。

3. 研究の方法

厚生労働省の診療報酬情報提供サービスである「レセプト情報等の第三者提供」を利用して、2010年4月1日～2021年3月31日の間のがん（悪性腫瘍）と診断された患者のレセプトから、背景情報や治療情報を抽出し、がん治療の調査を行います。また、同様の治療実態調査を京都大学医学部附属病院のレセプト情報、DPCデータ、電子カルテ情報を用いて行います。

4. 研究期間

2015年7月15日～2021年7月14日

5. 個人情報の保護について

本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施します。個人情報（個人が特定できるような氏名・生年月日などの情報）は文部科学省・厚生労働省の指針に従い厳重に管理いたします。

本研究のために調査する資料はカルテ番号(ID番号)に別の登録番号を付与し、どの人の資料かが直ぐにはわからないようにして作成することにより、個人情報とプライバシーの保護に努めます。本研究で扱われている個人情報に関しては開示を求めることができ、また窓口までお問い合わせ頂ければ、研究の実施に支障の無い範囲で計画書等を閲覧して頂くことも可能ですし、当該研究の実施に係る記録（文書及び電子記録）を試験終了後、結果の公表から10年以上保存します。本研究に参加を同意されない対象者の方は、下記連絡先まで不参加のお申し出をいただくことで、その時点より解析およびデータより研究対象者が識別される試料・情報の利用は中止されます。

6. 研究資金・利益相反について

本研究は、科学研究費補助金を使用して実施します。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理しています。

7. その他

本研究はすでに当院で治療を受け、当院の電子カルテやデータベースに記録保存されているデータを用いて行います。本研究の対象となった場合も謝礼のお支払いはありません。

8. 本研究に関する問い合わせ窓口

研究責任者

京都大学医学部附属病院 腫瘍内科 教授 武藤学

(電話) 075-751-4592

病院の相談窓口

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

(電話) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp